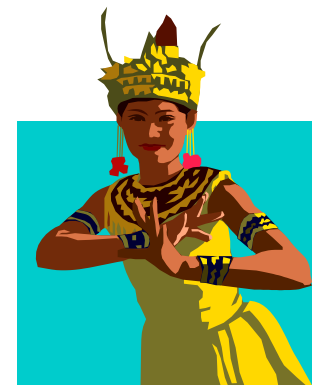


インドネシアを好きになる秘訣 嫌いになる原因

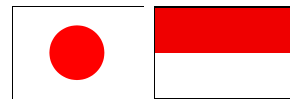


インドネシア進出サポート
小野耕司





自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援分野配属
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/7～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立
インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家


独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

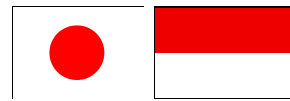
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社



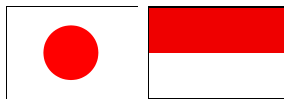
インドネシアとの
関わりも50
年になりました
た



セミナー要旨



- 昔から、インドネシア駐在経験者の20%はインドネシアをこよなく愛するになり、20%は二度と来たくないほど嫌いになると言われていました。
- 幸いなことに私は前者の、こよなく愛する部類に入れたようですが、多くの知り合いの中には、私よりもこよなく愛する人達も居れば、大嫌いになって帰国した人達もいます。
- 折角インドネシアと関わり合いを持つのであれば、1人でも多くの人にインドネシアを好きになって欲しいと常日頃考えており、出来るだけそのような環境になるよう心掛けています。
- このセミナーでは、これまでの50年間の経験を基に、インドネシアを好きになる秘訣とは何か、逆に嫌いになる原因は何かを、改めて考えてみたいと思います。

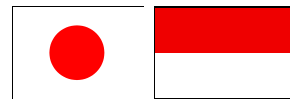


好きになる秘訣

1. インドネシア語の世界を理解する
2. 五つの「あ」を常に忘れない
3. インドネシア人の叡智を知る
4. イスラム教について教えてもらう
5. 終戦直後の対日感情を知る
6. 要人達と積極的に接する
7. 名所旧跡を訪ねて歴史を実感する
8. 南国の楽園を満喫する
9. 各地の料理、果物を味わう
10. 冠婚葬祭に積極的に参加する

嫌いになる原因

1. 出来ると言ったのに出来なかった
2. 見え透いた言い訳を列挙された
3. 約束の時間や納期を守らない
4. 仕事中に礼拝のために抜ける
5. 会社の資金を大盤振る舞いする
6. 会社の所有物を私的に利用する
7. 日本人に対して同胞を庇う
8. 日本人に比べて衛生観念が低い
9. スリや強盗の被害に遭う
10. 使用人や運転手との軋轢に悩む

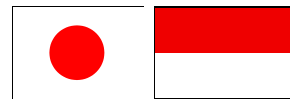


1. インドネシア語の世界を理解する
2. 五つの「あ」を常に忘れない
3. インドネシア人の叡智を知る
4. イスラム教について教えてもらう
5. 終戦直後の対日感情を知る
6. 要人達と積極的に接する
7. 名所旧跡を訪ねて歴史を実感する
8. 南国の楽園を満喫する
9. 各地の料理、果物を味わう
10. 冠婚葬祭に積極的に参加する

好きになる秘訣



1. インドネシア語の世界を理解する



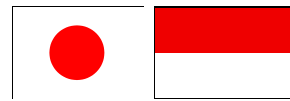
- 言葉は単なるコミュニケーションのためのツールではありません。
- その国の文化を最も正確に表現出来るのは、その国の言葉です。
- **言葉は言霊**であり、言葉が変わると魂の形も変わります。
- 同じことを伝えるにしても、英語で話すのと、インドネシア語で話すのでは、話す方も聴く方も別人のように感じられます。
- インドネシア語で会話をし、ニュースを視聴し、映画を鑑賞し、そしてメッセージを送ることで、インドネシア人の魂と交わることが出来、彼らの本音を垣間見ることが出来ます。
- これが信頼関係を築くことに繋がります。



インドネシア語上達の秘訣



2. 五つの「あ」を常に忘れない



- 昔、作家の城山三郎が、発展途上国で仕事をする日本人に贈る言葉として五つの「あ」を提唱しました。
- 私もインドネシアに赴任する際に、インドネシアに駐在したことのある先輩上司から、これを贈る言葉として与えられ、今でも常に見えるところに貼っています。
- インドネシアでの仕事に限らず、家族も含めたあらゆる人間関係において、これを忘れた時にトラブルが発生、または大きくなります。

あせるな

あわてるな

あたまにくるな

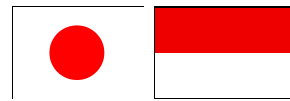
あてにするな

あきらめるな





3. インドネシア人の叡智を知る



- 1945年にオランダから独立し、インドネシア共和国を建国するに当たり、当時の指導者達は、古来からの叡智に基づき、建国五原則“Garuda Panca Sila”を制定しました。
- これらは、綻びが見え始めて来た欧米主導の民主主義制度に対して、一石を投じているようにも感じられます。

建国五原則: GARUDA PANCASILA

合議制と代議制における英知
に導かれた民主主義

インドネシアの統一

唯一神への信仰

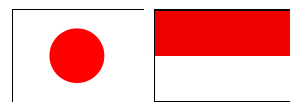
全インドネシア国民に対する
社会的公正

公正で文化的な人道主義





4. イスラム教について教えてもらおう



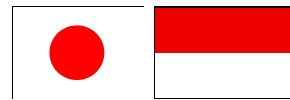
- 日本人はイスラム教をタブー視する傾向にあります。
- インドネシアはイスラム教の発祥の地ではありませんが、今日では世界最大のイスラム教徒を抱える国です。
- 色々な機会を通じ、彼らにイスラム教について真摯に質問してみると、彼らは喜んで丁寧の説明してくれます。
- その際、日本人が信仰する仏教や神道について、こちらからも説明して上げると、お互いの心のルーツを語るようで、非常に有意義な会話となります。



日本人としてイスラム教徒に配慮すること



5. 終戦直後の対日感情を知る

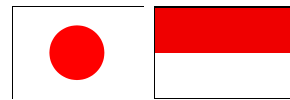


- 大東亜戦争における日本軍のインドネシアでの評価は色々あります。
- しかし、日本軍の進駐によりオランダ軍が撤退し、終戦の二日後の1945年8月17日に、インドネシア共和国の独立宣言に至ったことは歴史の事実です。
- その後の4年間にわたる、独立を認めないオランダ軍との独立戦争に、千名の残留日本兵が参戦し、戦死した半数の兵士は独立の英雄として崇められています。
- 1955年にバンドンで開催された、第一回アジア・アフリカ会議の冒頭挨拶で、インドネシアのスカルノ大統領が、欧米諸国による**植民地から解放**してくれたとして、日本に感謝の言葉を述べたことは有名な話です。
- このことは今でもインドネシア人に受け継がれ、語られることを日本人は知る必要があります。





6. 要人達と積極的に接する

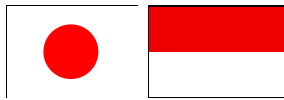


- インドネシアに滞在している日本人は、全日本国民の約1万人に1人の割合ですから、**1万人を代表**しているとも言えます。
- また、駐在員は日本の会社を代表して、インドネシアで仕事をしていることを忘れてはなりません。
- そのような日本人としての高い志は、インドネシアの要人達に必ず受け入れられます。
- 要人とは、インドネシア政府の高官、大企業の幹部、著名な芸能人やプロスポーツ選手などです。
- このような人達の話をお聴くと、インドネシアが向かっている先を、少し垣間見ることが出来るでしょう。





7. 名所旧跡を訪ねて歴史を実感する

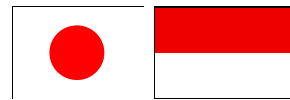


- 歴史を知ることは、その国を理解するためには欠かせない要素です。
- インドネシアの歴史は以下の様な時代に分けられ、その時代の遺跡や文化を堪能出来ます。
 1. ヒンズー教・仏教王国時代：1世紀～15世紀
 - バリ島、プランバナン遺跡、ボロブドゥール遺跡
 2. イスラム教王国時代：15世紀～20世紀
 - インドネシア全土に存在する古いモスク
 3. オランダ植民地時代：17世紀～20世紀
 - ジャカルタ駅周辺の古都(Kota Tua)、ボゴール宮殿など各地に残る旧官邸や私邸
- そして、同時代の日本や世界の歴史を調べて見ると楽しいでしょう。





8. 南国の楽園を満喫する

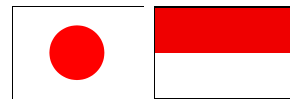


- 四季の移ろいのある日本の自然も素晴らしいと思いますが、常夏の南国の楽園も違った素晴らしさがあります。
- プライベートな時間は、T-シャツ、短パン、サンダルだけで毎日を過ごせる生活は、日本ではなかなか体験出来ないことです。
- 一年の半分を占める雨期の間は、多少制約を受けますが、常夏の気候は年間を通じて野外レジャーを楽しむことができます。
- ゴルフ、テニス、野球、サッカー、釣り、山歩き、水泳、ダイビング、キャンプ、等々家族や仲間達とのレジャーには最適です。





9. 各地の料理、果物を味わう

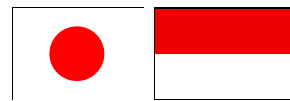


- インドネシアには15,000以上の島があり、そこには200以上の種族が住んでいます。
- それぞれの種族を代表する料理は数多くあり、海の幸と陸の幸が如何に豊かであるかが実感出来ます。
- 特にトロピカル・フルーツと呼ばれる物は絶品で、日本ではほとんど食べることのない、果物の王様と呼ばれるドリアンや、果物の女王様と呼ばれるマンゴスチンは一度食べたなら忘れられないものです。
- パイナップルやパパイヤは日本でも売られていますが、スマトラ島やカリマンタン島で食べる果物の、溢れる様な汁の瑞々しさは体験出来ません。



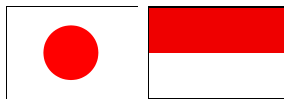


10.冠婚葬祭に積極的に参加する



- インドネシアの主な冠婚葬祭行事としては、7歳の男児・女児の割礼、結婚式、そして葬式です。
- 会社の従業員やその家族のための行事に招待された場合は、庶民の生活を体験する絶好の機会として、躊躇いなく参加すると良いでしょう。
- 取引先のオーナーの息子や娘の結婚式に招待されることもあります。豪華で派手な催し物を見ておくのも良い思い出となることでしょう。



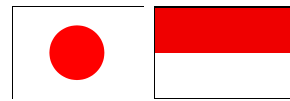


1. 出来ると言ったのに出来なかった
2. 見え透いた言い訳を列挙された
3. 約束の時間や納期を守らない
4. 仕事中に礼拝のために抜ける
5. 会社の資金を大盤振る舞いする
6. 会社の所有物を私的に利用する
7. 日本人に対して同胞を庇う
8. 日本人に比べて衛生観念が低い
9. スリや強盗の被害に遭う
10. 使用人や運転手との軋轢に悩む

嫌いになる原因



1. 出来ると言ったのに出来なかった

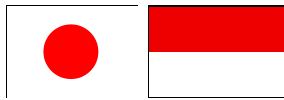


- 部下に仕事を依頼した際の返事は【出来ます】であった。
- 途中経過を確認した際にも返事は【出来ます】であった。
- 約束の期限が来て確認した際の返事は【出来ます】であった。
- しかし、事実は【出来ない】であった。
- インドネシア人、特にジャワ人は上司や年配者に忖度し、出来ないとか知らないと答えるのは失礼であり、不遜であると考えられています。
- 特に出来て当たり前だろと言わんばかりに物を頼むと、その場は【出来ます】と答えるのが無難であると考えられるでしょう。





2. 見え透いた言い訳を列挙された

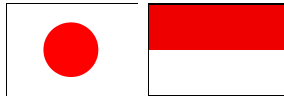


- 無断欠勤の理由を問い質すと、子供が急に病気になったと言う。
- どうして連絡しないのかと問い質すと、慌てていて忘れたと言う。
- 奥さんはどうしたのかと問い質すと、仕事に行って居なかったと言う。
- 子供が病気なのに仕事に行ったのかと問い質すと、子供は自分の方に懐いていると言う。
- 奥さんは仕事を休めないのかと問い質すと、勤務先が突然の欠勤を許可しないとと言う。
- こんなことを当然のように言われると嫌になってしまいます。





3. 約束の時間や納期を守らない

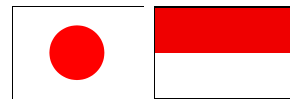


- インドネシア語のBesokは厳密には明日ではなく、明日以降の未来です。
- 明日までに必須の場合は、明日何月何日の何時何分までに、と明確にしないと危険です。
- 会う約束をした時にも、Besokだけで、時刻を言わない人がいます。
- 季節の変わり目が無く、日の出も日の入りも一年中ほぼ同じ時刻で、毎日と同じように流れる中では、そもそも時間に対する感覚が違うのでしょうか。
- インドネシアではこれを伸縮自在な【ゴム時間】と言います。

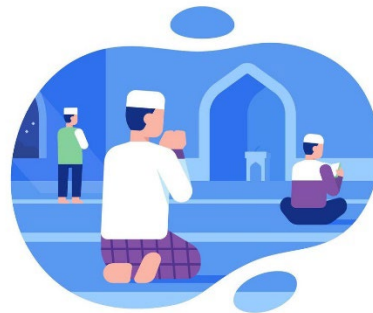




4. 仕事中に礼拝のために抜ける

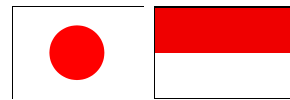


- イスラム教の戒律には早朝4時頃、昼12時頃、夕方4時頃、夕方6時頃、そして夜7時頃の、一日5回の礼拝があります。
- 夕方4時頃の礼拝は勤務中の場合が多いのですが、禁止することは出来ません。
- 工場の生産現場でも、作業を中断して礼拝所に行くのは権利です。
- 会議中であっても、礼拝と称して抜け出す人を誰も止められません。
- 緊急事態の場合は自主的に自制してくれますが、そうでない人もいます。
- 乗客からは見えませんが、飛行機の機長と副操縦士も交代で礼拝をしていることが多いようです。





5. 会社の資金を大盤振る舞いする

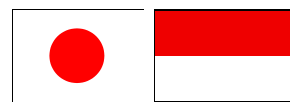


- 会社経営のことを知らないと、**会社は金の生る木**だと勘違いする人がいます。
- こんな人が合弁相手の場合は、運転資金は個人の支払に充てられて、会社が倒産するのは時間の問題です。
- インドネシア人社員の福利厚生と言う名の下に、スポーツ大会や慰安旅行などに、気前よく費用を出したがるインドネシア人の幹部社員が居ます。
- 小口現金や仮払金の精算に際して、多少の差額は些細な問題と称して、問題にしないインドネシア人の経理課長がいます。
- 堤防の土手は、一匹の蟻の穴から崩壊することを知らないのです。





6. 会社の所有物を私的に利用する

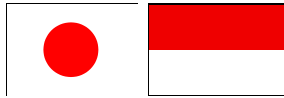


- 設備、機械、工具、材料など、全ての物は会社の所有物であり、勝手に個人目的に使うことは出来ないことを、常識として理解していない社員がいます。
- 特に、長い期間使われることのない不動在庫品、滅多に使われない機械や工具について、どうせ使われないのだから、私的に利用しても問題がないだろうと、誤って判断してしまいます。
- この背景には、ジャワ文化としての【相互扶助】や、イスラム教の戒律である【喜捨】の、拡大解釈があるのかもしれませんが、その場合は窃盗罪の意識はほとんど感じていないでしょうから厄介です。





7. 日本人に対して同胞を庇う

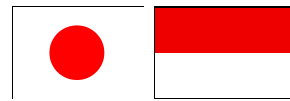


- 同国民として自然なのかもしれませんが、インドネシア人の社員が就業規則に違反した場合、その処罰の決定に際して、インドネシア人の幹部は間違いなく出来るだけ緩い処分を提案して来ます。
- 議論が不要となるように、罰則事項は出来るだけ細かく規定しておいても、勤続年数、家族の事情、これまでの会社への貢献など、色々な理由を挙げて情状酌量に訴えて来ます。
- まるで日本人は鬼の検察官で、インドネシア人は仏の弁護士のような雰囲気になりますが、日本人が最終判決を下す立場にある場合は、いつまでも後腐れが残ることもあります。





8. 日本人に比べて衛生観念が低い

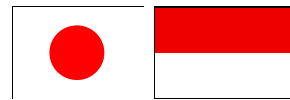


- インドネシアの衛生面での環境は年々改善されて来ていますが、特に潔癖さを求める日本人にとっては、我慢出来ないこともあるでしょう。
- 最も一般的な問題は、水道の水が透明でなくて悪臭を放っていることが多いことでしょう。
- 高級ホテルなどは受水元で浄水設備を完備しているため、飲めないにしても色や臭いはほとんどありませんが、これは例外と考えた方が良いでしょう。
- ローカル企業の工場でトイレを借りると、事後は自分の手で水洗いをする、伝統的な水洗トイレが今でも主流です。
- 庶民が利用する食事処の食器が、バケツに溜めた水で洗うだけと知ったら、聞いただけで下痢をする人もいるのではないのでしょうか。





9. スリや強盗の被害に遭う

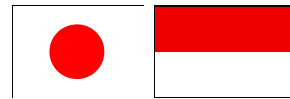


- スリや強盗の被害に遭った日本人を何人か知っていますが、ほとんどの人達がインドネシアが嫌いになってしまうのは仕方のないことでしょう。
- 私自身も深夜の自宅に強盗2回、事務所で現金とクレジットカードの入った財布の窃盗に1回遭っています。
- 住んでいたブロックでの強盗が多いので、共同で夜警団を雇用したところ効果てき面だったのですが、ある日突然警察に全員が連行され、実は強盗団だったということを知られました。
- 夜遅くにカラオケからタクシーで帰宅する際に、運転手とその仲間に連れ去られ、身ぐるみ剥がされた知り合いも二人いました。



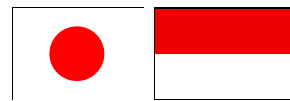


10. 使用人や運転手との軋轢に悩む



- 私の駐在時代は、運転手と使用人との付き合い方は永遠のテーマ、と言われていました。
- 確かに、公私を問わず一緒にいる時間が最も長いのが、運転手と使用人もかもしれません。
- そして問題なのは、どちらもプライベートなことに関わるのを、避けられない立場にあることです。
- 特に現代のほとんどの日本人は、運転手や使用人との生活には縁がないため、慣れるまでは色々な葛藤を経験することになります。
- 中には葛藤のあまり、ノイローゼになってしまい、早期帰国というケースもあるようです。





インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです
(Googleトップランキング)

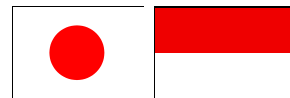
インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

**愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で公開されています**



ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です